

愛知県立大学多文化共生研究所(大学院国際文化研究科) 杉山三郎特任教授が、 ハーバード大学から H.B. ニコルソン・メソアメリカ研究優秀賞を受賞

多文化共生研究所(大学院国際文化研究科) 杉山三郎特任教授が、ハーバード大学から「H.B.ニコルソン・メソアメリカ研究優秀賞」(H.B. Nicholson Award for Excellence in Mesoamerican Studies)を受賞しました。

この賞は、ハーバード大学においてメキシコ・中米の先住民文明研究(考古学、天文考古学、民族学、人類学、古文書学、宗教学など)の分野で、数年に一人だけ選ばれる大変名誉ある賞です。今まで世界的権威であるアメリカ人研究者二名、メキシコ人研究者二名が受賞してきたなか、アジアの研究者からは初の受賞という快挙です。杉山特任教授が1980年代からメキシコ・テオティワカン遺跡で実施してきた3大ピラミッド調査の成果、さらに近年始めた国際プロジェクトが認められ、メキシコ古代史解明への長年の貢献度が高く評価されました

なお本年10月21-22日にハーバード大学が開催するシンポジウムに際して実施される授賞式では、メダルと賞金の授与が行われます。



杉山三郎特任教授 略歴

1980年よりメキシコ各地の古代遺跡で調査。1988年からメキシコ、テオティワカン「羽毛の蛇神殿」、「月のピラミッド」、「太陽のピラミッド」、「石柱の広場」などの総合調査を行う。2005年からアステカ大神殿、 Cholulaの巨大ピラミッドも共同研究、古代モニュメントの比較研究を行う。近年は人類学、認知科学から文明論を展開。

主催 : Peabody Museum of Archaeology and Ethnology, the Harvard Divinity School, the David Rockefeller Center for Latin American Studies, the Instituto Cervantes and the Department of Anthropology